

枕詞 まくらことば とくに意味はありませんが、特定の「ことば」を導き出すはたらしきをする五音のことばです。たとえば「たらちねの「は」母」を導き出す枕詞です。

たらちねの母がつりたる青蚊帳がやをすがしといねつたるみたれども

長塚 節 ながづか たかし

問 次のなかで枕詞を用いている短歌を二つ選びなさい。

ア ひさかたの光のどけき春の日に静心しずこころなく花の散るらむ

紀 友則 きのとものり

イ 芋いもの葉にこぼるる玉のこぼれこぼれ子芋は白く凝りこつつあらむ

長塚 節 ながづか たかし

ウ 秋は来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

藤原敏行 ふじわらとしゆき

エ 遠足の小学生有頂天とんちんてんに大手おでふりふり往来あしうとほる

木下利玄 きのしたりげん

オ ぬばたまの黒毛の駒こまの太腹おへに雪どけの波さかまき来たる

正岡子規 まはらおかしき